

霧島火山群, 最近 3 万年間のテフラ模式露頭の提案

田 島 靖 久*

(2014 年 7 月 26 日 受 付, 2014 年 10 月 27 日 受 理)

Proposed Type Localities for Tephra Layers Erupted from the Kirishima Volcanic Group
over the Past 30,000 Years

Yasuhisa TAJIMA*

The Kirishima volcanic group is located in southern Kyushu and is comprised of more than 20 volcanic edifices. The Kirishima volcanic group has produced many tephra layers and lava flows over the past 30,000 years, but few type localities have been established. Unfortunately, one type locality for tephra layers from Kirishima volcanic group, described by Imura (1996) in Kamamuta settlement, was destroyed by road construction. An alternative tephra locality near the destroyed one was found in the Kamamuta, and it is proposed a new type locality in this letter. Additionally, it is described type localities of Kirishima tephra layers dating from 20,000 to 7,300 cal BP that were generated from the western Kirishima volcanic group, including Koshikidake, Karakunidake and Ebinokogen in the Daio settlement.

Key words: Kirishima volcanic group, type locality, tephra, Kamamuta, Daio

1. はじめに

火山噴火史を編年するには、露頭の地質情報とその基礎データとなることは言うまでもない。しかし、論文に記載される露頭は、多くの場合、議論に必要な柱状図に限られ、露頭画像として情報が残されることは少ない。柱状図による記録は、色調、厚み、粒径のわずかな変化や全体の中での位置関係など短い記載では表現が難しい情報が抜け落ち、他の研究者が同じ露頭を検証することが困難となる場合がある。この情報の脱落を減らすためには露頭を画像として示すことが現実的かつ有効な方法と考えられる。筆者らは、野外調査に基づく霧島火山群の噴火史編年を行っており(田島・他, 2013; 2014)、対象地域のテフラや溶岩の模式地となる露頭を画像として示している。しかし、複数の火山地域を繋ぐ露頭や既に報告されている露頭については、柱状図に示すにとどめ露頭画像は掲載しなかった。今後、霧島火山群の研究やその自然科学的な普及を行うためには画像としての露頭情報が必要になると考えられ、最近 3 万年間のテフラの模式露頭を 2 箇所提案しその意義について議論する。

2. 霧島火山群のテフラ模式露頭

2-1 高原町蒲牟田

霧島火山東山麓の高原町蒲牟田 (Fig. 1) には、霧島火山群からのテフラの模式地があった(井村, 1996; 1999)。しかし、この露頭は道路拡幅工事によって削剥消滅したため、霧島火山群のテフラ層序の再現・検討に支障が出て来た。そこで、田島・他 (2013) が No. 1 として示した地点(北緯 31 度 54 分 16.25 秒, 東経 130 度 59 分 19.8 秒, Fig. 2 の Loc. K) を模式露頭とし提案し、以下に詳しく記載する。本地点は、高原町蒲牟田宇都の台地北端の崖に位置し、井村 (1999) が示した露頭 (Fig. 2 の点線丸) から約 100 m 東にある。なお、高崎川の北側や湯之元の南側にあるほぼ同じ高度面の台地は、入戸火砕流堆積物(荒牧, 1969)によって形成されている(沢村・松井, 1957; 木野・太田, 1976)。また、標高 223.4 m の三角点に代表される宇都の台地は、入戸火砕流堆積物から構成されている(産業技術総合研究所地質調査総合センター(編), 2014)。

本露頭の基底には、基質がガラス質火山灰からなる軽

* 〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜 2-17-14
日本工営株式会社 名古屋支店
Nippon Koei Co., Ltd. Nagoya Branch, 2-17-14, Higashi-sakura, Higashi-ku, Nagoya-shi, Aichi 461-0005, Japan.

Corresponding author: Yasuhisa Tajima
e-mail: tajima-ys@n-koei.jp